

消化器外科・小児科・小児外科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究における検体及び診療情報の利用を拒否された場合も、それが理由で不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長の実施許可を得ています。

[研究課題名] 消化管機能不全の病態制御機構の解明のための観察研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究の目的]

炎症性腸疾患 (Inflammatory Bowel disease, IBD)、過敏性腸症候群 (Irritable Bowel Syndrome, IBS)、短腸症候群 (Short Bowel Syndrome, SBS)、ヒルシュスプルング病 (Hirschsprung's disease) 及びこれらの類縁疾患は消化管に関連する疾患であり、患者の生活の質や健康に大きな影響を与える。これらの疾患の病態生理、治療法、合併症に関する情報は不足しており、キャリアによる影響や病歴に基づく新たな治療戦略の確立が急務である。本研究の目的は、各疾患の臨床的特徴や経過の理解を深め、病態に関与する分子の発現量や発現の位置の変化を調査して、新規治療分子ターゲットを探索し、新たな治療戦略を確立することである。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

炎症性腸疾患 (IBD)、過敏性腸症候群 (IBS)、短腸症候群 (SBS)、ヒルシュスプルング病 (Hirschsprung's disease) 及びこれらの類縁疾患の患者さんで、2000 年 1 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までの間に、これらの疾患に対し内視鏡検査または外科手術を受けられた方。その際に、消化器組織の保管に本院にて同意された方。

○利用する検体・診療情報

検体 : 消化管組織

ゲノム・遺伝子やタンパクの定量、解析に利用します。

診療情報 : 診断名、診断日、年齢、性別、身体所見、基礎疾患、検査結果 (血液検査、

画像検査、生理機能検査)、治療開始日、検体採取日など

○上記検体・情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[研究組織]

香川大学医学部

[研究責任者]

香川大学医学部自律機能生理学 倉原琳

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、解析により得られたデータ、ゲノム・遺伝子情報を含む研究成果は学会や学術雑誌で発表されるとともに、公的データベースへの登録に伴い、登録されたデータが民間企業を含む国内外の研究機関において広く共有されることがありますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

本学の対応窓口

氏名：倉原琳

所属：香川大学医学部自律機能生理学

職名：准教授

連絡先：香川大学医学部 自律機能生理学

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

TEL: 087-891-2100 (直通)